

**「鋼構造シンポジウム 2011」アカデミーセッション**  
**第 19 回 鋼構造年次論文報告集 講演会**  
**発表論文・報告(アブストラクト)募集**

開催日：2011年11月17日（木）～18日（金）（予定）

主催：社団法人日本鋼構造協会

協賛：（社）土木学会・（社）日本建築学会・（社）日本材料学会・（社）日本造船学会  
（予定） 日本地震工学会・（社）日本鉄鋼協会・（社）溶接学会・（社）日本鉄鋼連盟

場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル9階（予定）

■本シンポジウムは土木学会 CPD プログラムに認定される予定です。

**鋼構造年次論文報告集の刊行及びシンポジウムの開催**

社団法人日本鋼構造協会では、1993年以來、毎年1回「鋼構造年次論文報告集」を刊行し、併せて掲載論文・報告の講演会を開催しております。講演会は「鋼構造シンポジウム」のアカデミーセッションとして、鋼構造に携わる研究者及び技術者の成果発表並びに情報交換の場として定着し、昨年までいずれも成功裡に終えております。

2011年度も「鋼構造年次論文報告集(第19巻)」を刊行し、講演会を開催致します。以下の要領で募集致しますので、幅広い分野からの投稿をお待ちしております。

**日 程 及 び 応 募 方 法**

■日程

□投稿申込（郵送または電子メール）締切日・・・2011年4月28日（木）

□採否通知と原稿執筆依頼・・・・・・・・・・6月下旬（予定）

□完成原稿（郵送または電子メール）提出締切日・・・7月下旬（予定）

□最終採択通知と発表依頼・・・・・・・・・・9月中旬（予定）

□シンポジウム開催・・・・・・・・・・11月17日（木）～18日（金）

・論文・報告が掲載された場合、著者のうち1名に鋼構造シンポジウム／アカデミーセッションにおいて講演を行っていただきます。

※本年度より発表者には「発表登録料」をお支払いただきます（年次論文報告集 CD-ROM 代含む）。

※本年度から年次論文報告集は CD-ROM のみとなります。また発表者には年次論文報告集 CD-ROM 代含を含めました「発表登録料」をお支払いただくことになりました。発表登録料の支払時期は、登載確定後（10月頃）を予定しております。

◎＜発表登録料＞会員・非会員、一般・学生でそれぞれ登録料は異なります。

・第2種正会員：7,000円　　・学生（準会員）：3,000円

・非会員：12,000円　　・学生（非会員）：5,500円

なお本年度より、冊子・別刷は作成いたしません。

※アブストラクトは、2ページ以上8ページ以内です。

■投稿申込方法

□申込資格：問いません。

□著者：5名以内とします。

□申込件数：発表者1名につき、1題とします。

□申込期限：2011年4月28日（木）必着

□申込宛先：（郵送）社団法人日本鋼構造協会

鋼構造年次論文報告集編集委員会

〒160-0004 新宿区四谷3-2-1 四谷三菱ビル9階

（電子投稿）E-mail: 2011nenji@jssc.or.jp

□問合せ先：（E-mail: 2011nenji@jssc.or.jp / Tel: 03-5919-1535）

## 投稿対象及び投稿部門

### ■投稿対象

- ・対象は、鋼構造とその複合構造に関する独創的な研究や技術開発、創意工夫に満ちた設計・施工・維持管理に関する事例及びケーススタディー等の論文・報告とし、新規性・実用性に富み、技術的・工学的に価値のあるものとし、
- ・工事報告など、従来の学術論文の形式になじみにくかったものも対象としており、実務者の方々の投稿を歓迎します。
- ・ひとつの論文・報告はそれ自身で完結した体裁を整えているものとし、宣伝に偏した内容は避けてください。
- ・投稿論文・報告は審査付きであり、原則として未発表の内容に限りますが、下記の条件に該当するものは、既発表の内容であっても応募可能と致します。

□既発表であっても応募可能とする条件

- ・大会学術講演会、支部研究発表会等で発表したもの
- ・国際学会、コロキウム等で講演するために、その概要または講演論文として発表したもの
- ・大学の紀要、研究機関の研究所報及び会社技報などに発表したもの
- ・国、自治体、業界、団体からの委託研究の成果報告書
- ・既発表の論文・報告を統合・再編成し、新たな知見を加えてレベルアップしたもの

### ■投稿部門

- ・投稿部門は次の20部門とし、投稿申込時に希望部門を選択するものとし、  
【1】材料 【2】耐荷力 【3】骨組 【4】接合部・継手 【5】部材 【6】床版 【7】橋梁一般・構造景観  
【8】吊構造 【9】合成・複合構造 【10】構造解析 【11】設計 【12】施工 【13】製作 【14】振動・制振・耐震  
【15】疲労・破壊 【16】補修・補強 【17】維持管理 【18】環境問題 【19】計測・検査 【20】その他

## 申込要領（郵送による場合）

次の要領に従って、申込書及び論文要旨・報告要旨を作成し、お申込下さい。なお下記の要領項目に関する記述が不適切、あるいは不明確な内容であった場合は、登載可否の審査対象外となることがあります。

### ■申込書・論文要旨・報告要旨の用紙、枚数及び部数

- ・申込書及び論文要旨・報告要旨は、A4判の用紙（縦置、和文、横書）に参考図表等も含めて、**2ページ以上8ページ以内**にまとめたものを4部作成してお申込み下さい。

### ■申込書の作成要領

- ・申込書として、上記用紙1枚目の初めから1/4枚分のスペースに以下の要件を明記してください。これらの要件については、登載決定後の変更は原則として認められません。
  - (1) 希望投稿部門（上述の投稿部門【1】～【20】より選択してください）及び分野の区分（①土木、②建築、③土木・建築共通セッション、④造船・海洋、⑤その他）
  - (2) カテゴリー（**A 論文 or B 報告**） カテゴリーAは学術的、カテゴリーBは技術的観点から審査されます。
  - (3) キーワード（**3～5個**）
  - (4) 論文・報告原稿言語（和文か英文の選択）
  - (5) 論文・報告題目（和文題目と英文題目を併記する）
    - ・論文・報告題目は、**和文 30文字以内、英文 20 words 以内**とし、副題、（その1）・（その2）、商業宣伝となる用語、等の使用は認められません。
  - (6) 著者名（**著者数は5名以内**とし、氏名は日本語・英語表現を併記し、各々の所属を明記した上で、発表者名の頭に○印を付記して下さい。**また、著者の後ろに当協会の会員資格を付記してください。会員資格の区分は、“第2種正会員”、“準会員”、“準会員（学生）”となります。**なお**発表者が投稿時点で35歳以下か否かについても明記してください。また前年度までに優秀発表賞を2回受賞している場合にはその旨もお書き下さい**）

(7) 代表者名（氏名・フリガナ・所属先・連絡先住所・電話番号・ファックス番号・電子メールアドレスを明記して下さい。）

・申込受理以降の連絡は代表者を通じて行います。

#### ■ 論文・報告要旨の作成要領

- 論文・報告要旨は上述の **2 ページ以上 8 ページ以内** の用紙に申込書用の 1/4 枚分を除いた残りのスペースを用い、論文・報告内容の概要として、(i) 目的 (ii) 方法 (iii) 結果と考察 (iv) 結論 の 4 項目に関わる内容を、参考図等を加え、具体的に分かりやすく記述してください。

#### ■ 郵送先：社団法人日本鋼構造協会 鋼構造年次論文報告集編集委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-2-1 四谷三菱ビル 9 階

#### ■ 申込確認

要旨を受理次第、代表者に受領メールもしくは FAX をお送りいたします。なお、送付したにもかかわらず **2011年5月13日(金)** までに連絡がない場合は事務局まで電話にてご連絡ください。

#### 申込要領（電子メールによる場合）

以下の要領に従って、郵送による場合と同じ記載内容の電子ファイルを作成し、電子メールへ添付してお送りください。

#### ■ データ形式

- 原稿は、Adobe Acrobat **4.0 以上** を用いて変換された、PDF ファイルで提出してください。ファイルサイズは **2MB 以内** とし、印刷した場合のページ数が A4 判で **2 ページ以上 8 ページ以内** となるよう原稿を作成してください。これを超えた原稿は受けられません。また、投稿するファイルは PDF 形式とし、圧縮ツールは使用しないで下さい。
- PDF 化にあたっての解像度の設定についての制約は設けません。図・表・写真等を原稿に張り付けた状態で上記のファイルサイズ以内に納まるよう、執筆者で自由に設定してください。ただし、画像データ（図・写真）を含む場合、PDF ファイルに変換することにより、出力品質が劣化することがありますので、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は **600～1200dpi** 程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像（写真等）の解像度は **300dpi** 程度が目安となります。
- 本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色の制限はありません。ただし、論文・報告要旨の査読には、提出された PDF ファイルをモノクロプリンターでプリントしたものの使用いたします。カラー印刷した原稿での査読を希望される方は、印刷したものを郵送にてお送りください。
- PDF ファイルに **ファイルロック等のセキュリティやパスワードの設定を絶対に行わないでください**。また、何らかのトラブルで原稿（PDF ファイル変換前の原稿）を別途提出していただくこともありますので、原稿ファイルは削除しないで必ず保管しておいてください。

※PDF ファイル読みとり専用の Acrobat Reader では PDF ファイルに変換することはできません。

※PDF 化の際にエラー等が発生した場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページ（<http://www.adobe.com/jp/>）をご参照ください。

#### ■ 書式設定

原稿で使用するフォントは以下に限定してください。

| OS      | Windows                      | Macintosh              |
|---------|------------------------------|------------------------|
| 日本語フォント | MS 明朝または MS ゴシック             | 細明朝、中ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック |
| 英字フォント  | Symbol、Times、Times New Roman |                        |

#### 注意事項

※和文フォントに関しては、パソコンの機種等により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使いください。特に Windows をお使いの場合は、人名辞書にはあるが第二水準に無いような文字（高、崎など）がありますので注意してください。機種／フォントに依存する特殊文字（①、②、I、II、m

等)、半角カタカナおよび半角「,」「。」、HG系フォント、修飾文字は機種によっては文字化けしますので、別の文字に置き換えてください。これらの制約は異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要となります。

#### ■ 申込方法

件名に「鋼構造シンポジウム申込書及び論文・報告要旨送付」と明記し、申込書及び論文・報告要旨の PDF ファイルを添付し、下記項目をメール本文へ記入の上、2011nenji@jssc.or.jp までお送りください。

1) 希望投稿部門および分野、希望カテゴリ

2) 和文題目と英文題目

3) 代表者氏名、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス

※添付ファイルのファイル名は指定いたしません、必ず拡張子 (.pdf) がついているファイルをお送りください。

#### ■ 申込確認

要旨を受理次第、送信者に受領メールを返信いたします。なお、送信したにもかかわらず 2011年5月13日(金)までに返信がない場合は事務局まで電話にてご連絡ください。

#### 完成原稿について

- ・ 申込まれた論文・報告要旨は、査読審査の上、採否の結果を 2011 年 6 月下旬にご通知致します。
- ・ 採択となった場合には、採択通知とともに原稿執筆要領をお送りします。
- ・ 完成原稿の頁数は 4・6・8 の偶数頁とし、それ以外は受け付けません。
- ・ 完成原稿の提出期限は、2011年7月下旬(予定)とさせていただきます。
- ・ 完成原稿も郵送または電子メールにて提出していただきます。
- ・ 提出された完成原稿と先に提出された要旨との照査を行います。これによる採否の判断は鋼構造年次論文報告集の編集を担当する「年次研究発表会小委員会」にご一任いただきます。

#### 登載料・参加費等

- 「発表登録料」: <会 員> 7,000円  
<非会員> 12,000円  
<学生(準会員)> 3,000円  
<学生(非会員)> 5,500円(支払時期は、登載確定後(10月頃)を予定)

■ 聴講のみは、これまで通り無料です。

#### 年次研究発表会小委員会委員名簿

<委員長>

山 田 哲 (東京工業大学)

<副委員長>

宇都宮 智 昭 (京都大学)

<委員>

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 阿 部 雅 人 (株BMC)          | 穴 戸 唯 一 (住友金属工業(株))   |
| 井戸田 秀 樹 (名古屋工業大学)       | 宋 勇 勲 (川岸工業(株))       |
| 入 部 孝 夫 (株東京鐵骨橋梁)       | 寺 田 岳 彦 (清水建設(株))     |
| 織 田 博 孝 (瀧上工業(株))       | 時野谷 浩 良 (株大林組)        |
| 梶 田 幸 秀 (九州大学)          | 永 井 和 弘 (高田機工(株))     |
| 川 村 満 (株日本設計)           | 中 西 克 佳 (JFE スチール(株)) |
| 吉 敷 祥 一 (東京工業大学)        | 中 野 達 也 (宇都宮大学)       |
| 木 村 祥 裕 (長崎大学)          | 中 村 一 史 (首都大学東京)      |
| 小 室 雅 人 (室蘭工業大学)        | 中 山 裕 章 (新日本製鐵(株))    |
| 佐々木 栄 一 (横浜国立大学)        | 馬 場 望 (大阪工業大学)        |
| 塩 未 健 (日立造船(株))         | 日 吉 寛 (積水ハウス(株))      |
| 嶋 原 徹 (セントラルコンサルタント(株)) | 松 下 政 弘 (株神戸製鋼所)      |

平成 23 年 2 月 現在